

## 平成29年度共同研究プロジェクト支援制度 募集要項 (香川大学版)

### 1. 趣旨

平成26年度から28年度までの3年間、文部科学省科学技術人材育成補助事業による「四国5大学連携による女性研究者活躍推進コンソーシアム形成事業」において、『女性研究者研究活動支援事業（連携型）における共同研究プロジェクト支援制度』を推進して参りました。本共同研究プロジェクトでは、女性研究者同士のネットワークが広がり、研究の成果が得られました。そこで、平成29年度は、各大学において予算措置を図り、連携による共同研究を継続して推進していきます。共同研究を通して活躍の場を広げ、研究のモチベーションを高めると共に安定的な研究の実施を支援することで、優れた研究成果の創出につなげることを目的とします。

### 2. 応募対象者及び共同研究体制

応募対象者（研究代表者並びに共同研究者）の要件

対象者	対象者詳細
申請者 (研究代表者)	香川大学で雇用されている女性研究者（下記にあてはまる方） ・教員(教授、准教授、講師、助教、助手) ・特任教員 特任研究員 学術研究員
共同研究者 A	①四国国立大学に所属する女性研究者（必須） ②研究代表者と異なる香川大学の部局・分野等の女性研究者
共同研究者 B	男女を問わず、その他の大学、企業等の研究者

※共同研究者として四国国立大学に所属する女性研究者を必ず含むこと

※学生でないこと(ただし、所属する研究機関において研究活動を行うことを本務とする職に就いている者(例:大学教員や企業等の研究者など)で、学生の身分も有する場合を除く)

### 3. 研究課題

特に問いません。

### 4. 支援規模

共同研究支援：10万円 1件

### 5. 支援期間

平成29年10月2日（月） ～ 平成30年1月31日（水）

### 6. 支援対象となる経費

※留意：人件費・謝金には使用できません。

使用項目は、①物品費、②旅費、③その他です。

## 研究支援金の使途に関する留意事項

使用項目	使用方法	留意事項（利用不可）
物品費	消耗品は、共同研究の推進のために使用することを目的とした物品に限ります。 特に、備品等については、購入額が研究費総額5割までとする。	他機関所属の共同研究者の物品購入（所属機関の予算で購入すること）
旅費	※ 香川大学の旅費規則による。 ・研究代表者および香川大学所属の共同研究者（申請書に記載されている者に限る）の内国出張（資料収集、各種調査、研究の打合せ、研究の成果発表等）のための経費（交通費、宿泊費） ・学会参加費（国内学会のみ） ・他機関所属の共同研究者が共同研究の推進に必要な打合せ、調査のために使用する旅費	・外国出張（国際学会参加旅費） ・発表を伴わない学会参加旅費 ・他機関所属の共同研究者の学会参加旅費
その他	・印刷費（研究成果広報用ポスター・パンフレット作成費用含む）、複写費 ・通信費（切手等）、運搬費 ・研究成果発表のための学会誌投稿料（オープンアクセスに係る掲載料含む） ・翻訳、校閲	・成果報告書の印刷 ・図書の刊行 ・発表を伴わない学会参加費 ・会議時の食事等代、会場費

### 7. 応募方法

以下の申請書類を、PDF ファイルにて E-MAIL で送信下さい。

- ① 申請書(申請様式1)
- ② 申請額費用内訳(申請様式2)

### 8. 募集締切

平成29年9月15日(金) 15:00必着

### 9. 選考方法

香川大学男女共同参画推進室による審査、四国5大学男女共同参画推進連絡協議会による承認を経て決定します。審査結果は、採択の可否にかかわらず、速やかに申請者へ通知します。

なお、審査結果に対する問い合わせには応じかねます。

### 10. 提出先

香川大学男女共同参画推進室

TEL: 087-832-1055 FAX: 087-832-1057

E-mail: sankaku-alpaca@ao.kagawa-u.ac.jp

平成29年度共同研究プロジェクト支援制度 申請書

平成 年 月 日

研究課題名			
研究期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日		
研究代表者	専門領域	所属機関・部局	職名
ふりがな 氏名  専門領域	所属機関： 部局： 住所：〒  電話番号： E-mail：		
共同研究者	専門領域	所属機関・部局	職名
ふりがな 氏名  専門領域	所属機関： 部局： 住所：〒  電話番号： E-mail：		

※ 欄が足りない場合は記入欄をコピーしてください。

申請額	申請額 (千円)	使用内訳 (千円)			自己資金も使用する場合は下記記載
		消耗品費	旅費	その他	
1. 研究目的 (概要)					
2. 学術的背景					
3. 学術的な特色・独創的な点及び予想される結果と意義					
4. 研究計画・方法の概要及び共同研究実施体制 (研究代表者と研究分担者の役割を記入する) 並びに倫理的配慮					
5. 主な研究業績 < 研究代表者及び研究分担者が既に発表した論文、著書、招待講演、学会等での発表、特許、実務等に関して特記すべき業績も可。例えば発表論文の場合、論文名、著者名、掲載誌名、巻、最初と最後の頁、発表年 (西暦) を記入し、研究代表者には二重下線、研究分担者には一重下線を付してください。 >					

※欄が足りない場合は適宜追加してください。

